

※ 応援団登録していただいた方には郵便又はメールでお届けしています。

令和4年11月発行

広尾町コミュニティ・スクール

# 広尾っ子応援団だより (No.58)

広尾っ子応援団本部事務局（教育委員会社会教育課）電話 01558-2-0181



## 広尾っ子応援団本部会議を開催しました

10月24日に広尾っ子応援団本部（本部長：田中副町長）会議が行われました。会議では、各学校運営協議会で進めている「教育環境を生かした取組」への協力方法や応援団本部が推進している「応援メッセージ」、「放課後読書等ふれあい広場」等の内容について検討しました。

### 【協議における主な意見等】

◇コロナ禍の中、各学校では感染防止対策を取りながら地域人材・教材を活用に努めている。

◇子どもたちの活躍の様子をさらに町民に紹介する工夫（広報活動）がほしい。

◇町民による花壇整備に子どもたちの参加もあると、社会参画や世代交流にもつながるのではないか。

◇広尾っ子応援団本部として、小、中、高校の12年間をしっかりと応援や支援することが大切である。

このような協議内容をもとに、広尾っ子応援団本部として子どもたちの健やかな成長のため、今後もよりよい取組になるよう努めていきたいと思えます。地域の皆様には、これからも広尾っ子への温かいまなざしと支援をお願いいたします。



## 子どもたちがサンタランドに貢献

サンタランドのウッドイルミネーション事業に子どもたちが協力しました。町内の小学校、中学校、高校の児童生徒が木製ランタン作りをしました。事業を担当している地域おこし協力隊の方の説明を受けながら懸命に制作して、沢山のランタンが出来上がりました。

この木製ランタンは、今、サンタランドのイルミネーションとして美しい光を放っています。このように、広尾っ子が地域に貢献する体験をすることで地域への愛着がより深まることでしょう。広尾っ子の皆さん、協力ありがとう。



〈広尾小学校での作成の様子〉

## 輝け広尾っ子：応援メッセージが届きました

今年のサンタランドのウッドイルミネーションも、とてもきれいですね。新聞や町の広報を拝見すると、小学生、中学生、高校生も制作に関わったと知りました。

町を代表する名所を盛り上げようと、児童生徒一丸となって頑張ったと思うと、輝きもひと味ちがって見えます。

多くの知り合いに、子どもたちが頑張ってウッドイルミネーション作りをしたことを広めようと思います。

(町内、40代、男性、11月4日受取)

## 重点教育目標を目指した授業の紹介

【広尾中学校：10月21日、2年A組、道徳】

主題「今を生きる私のために」（向上心・個性の伸長）の学習でした。生徒たちは天才と言われた人物を例にして自己の生活を見直し、より自身に適した「充実した生き方」を考えました。

自分を振り返る場面では、「今までで最も時間を費やしてきたものは何か」について考え、さらに、自分のやりたいことを見つけて、これからの時間をどのように使っていきたいかを交流しました。生徒たちは、先生の発問に対して真剣に考える姿がありました。



【広尾小学校：11月4日、3年1組、国語】

「くらしと絵文字」の学習で、子どもたちは教材文をもとに「生活に役立つ絵文字当てクイズ」づくりに挑戦しました。

子どもたちは教材文をよく読み、友だちと相談しながら分かりやすい読み札を作るポイントを考えていました。また、考えたことを生かしながらワークシートに文章をまとめて書いていました。進んで発表したり、話し合ったりと意欲的に活動する姿が多く見られました。

